

令和元年度（平成31年度）事業報告

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人

鳥取県障害者就労事業振興センター

1. 事業の概要

障がい者が地域で自立して生活するための最低収入の確保を目指した工賃・賃金向上や障がい者の就労意欲、スキルの向上を図るために、障がい者就労継続支援事業所（以下「事業所」という。）が、より高い工賃・賃金が支払えるような環境体制を確立し、経営基盤の安定及び向上を図れるよう、以下の事業を実施した。

- ①就労系事業所の総合相談窓口機能を強化し、個々の相談対応。
- ②事業所の経営基盤安定と人材育成のための活動。
- ③障がい者の就労と収入増につながる活動。
- ④事業所の情報交換及び共同事業につながる活動。
- ⑤障がい者の就労促進のため、事業所紹介や事例等幅広く広報活動。
- ⑥将来を見据えた事業展開を検討するための調査研究活動。

2. 事業の成果

総合相談窓口機能を強化し、事業所関係 123 件、企業等 99 件の相談があった。また、事業所訪問を実施し個々の事業所状況を確認するとともに課題整理を行った。全事業所の訪問はできなかったが、収集した情報等はデータ化し個々の支援ツールとして活用できるものとなった（一部未完成）。

相談案件や訪問ヒヤリングで整理した課題等に対し個別に対応した。基本は事業所支援は類型に沿っての支援を実施したが、事業所によっては販路受注拡大と合わせて、経営基盤の安定、人材育成と並行して対応した。今期は個々の事業所の状況に合わせて、支援の優先順位を確認しながら進めていった結果、複数の事業所で基盤となる経営安定（訓練等収入増）を図ることができた。またセンタースタッフで対応できないものについては専門機関と連携して対応し、必要に応じて専門家派遣を行った。

共同受注窓口機能について、官公庁関係は実績のある受注に対しては、事業所との随意契約になるよう調整した。新規の受注に関しては、事業所とのマッチングを行うと共に事業所の受注体制づくり、中長期計画作成等並行して行った。ワークコーポととりでは、年間売上と参加事業所利用工賃目標を設定し、実現に向けて環境整備及び生産管理の強化を実施。今年度は既存取引企業からの受注増となり、売上前年比 136%と目標達成できた。参加事業所の平均工賃も前年比 149%と大幅増となった。

また、SDGs の取り組み推進も図り、研修会の実施や地域との連携強化を図り持続可能な事業展開に向けて商品開発等工賃向上に繋がる仕組みづくりを行った。

3. 事業の実施に関する事項

(1) 理事会・総会の開催

①総会の開催

定期総会：令和元年5月31日（平成30年度事業報告、定款変更等）

* 定款変更完了により、以降の定期総会は年1回となる。

②理事会の開催（全4回開催）

1回目：令和元年5月31日（平成30年度事業報告、定款変更等）

2回目：令和元年8月2日（四半期報告、鳥取県委託事業計画（7月より受託）等）

3回目：令和2年1月15日（四半期報告、日本財団プロジェクト事業、令和2年度事業概要等）

4回目：令和2年3月17日（令和元年事業報告、令和2年事業計画、次期役員、規定見直し等）

<参考> 令和元年度会員数：94カ所

事務局体制 9名（職員）

（2）実施事業内容

1. 自主事業

①研修会等の実施

・情報交換会の実施：5月31日（倉吉市）参加者 11事業所11名+行政2名

・就労事業売上管理フォーマットの活用研修：12月25日、26日（米子市、鳥取市）参加者23名

・経営力アップセミナー：1月17日18日（松江市、鳥根振興センター共催）参加者20名

②共同による事業

・地域活性化センターと連携：大塚商会たのくんからの贈り物事業
寄付いただいた事務用品等を希望の会員事業所に分配

・大山どりびっくり市販売促進チームによる事業

びっくり市での販売（月1回）

販促に関する勉強会及び連絡会の実施：6月28日

・よりよい暮らしのために2020年版 企画制作委員会

発行部数：6200部

販売：福祉の店5店舗、今井書店グループ各店舗他

・県庁売店販売会（23事業所）

ローテーションにより販売（1日1事業所）随時

・その他共同による販売会の実施

③情報の発信

・定期的メールにて情報配信（月2回程度）

助成金情報、研修会等案内、その他就労支援事業等に関する情報等

・ホームページ等更新

・日吉津イオンモールにて地域の広報活動に使用できるラックを設置

④その他

・新型コロナウイルスによる作業等への影響調査の実施（3月）

2. 障がい者のはたらき・自立のための工賃向上事業 【鳥取県委託事業】

①事業所訪問及び事業所の個別支援

・事業所の訪問：就労継続支援A型、B型事業所（未訪問事業所6カ所）

訪問後必要に応じて個別事業所の課題解決等対応

・総合相談窓口体制の充実

事業所の相談案件 延べ90件

<主な相談内容>

運営（経営）に関すること～運営・会計、加算、配置基準等

自主事業について～商品改良、衛生管理等

受託作業マッチング、施設外就労契約等

イベント出店等について

工賃支払い規定及び年度末工賃支払いについて

新型コロナ感染拡大防止及び収入減に関する相談

企業・行政等の相談案件 延べ 73 件

<主な相談内容>

商品の取り扱いについて

作業依頼、施設外就労の実施について

イベント、販売会等出店について

既存委託作業の変更等について

②商品開発・改善等支援及び中長期事業計画作成支援等

<主な事業所への対応>

ビジョン策定の中で、現行の作業の見直しと今後の事業展開について方向性を決める
中長期計画作成支援を継続的に実施

商品のコンセプトやターゲットを想定したパッケージのリニューアル

営業活動ツールとして、プレゼン用資料の作成等

デザインソフト「イラストレーター」、「フォトショップ」を使用したデータ加工の支援
助成金申請サポート

商品の販促支援

新規オープンする店舗での販売用商品企画し、販売までの支援

食品表示の支援

地域情報収集等同行支援

③専門家による事業支援

・派遣事業所：11 か所（10 事業所+福祉の店）

・派遣回数：26 回（延べ）

<主な派遣内容>

商品開発、食品表示について、販路拡大、店舗陳列等

④商談会等の情報収集及び提供

・随時情報収集を行いメール等で情報を提供

⑤県主催及び地域イベント出店等調整

<主な販売会>

・手話パフォーマンス甲子園（9 月 29 日：とりぎん文化会館）

出店事業所：11 事業所

・あいサポートアート祭り出店（10 月 5 日、6 日：とりぎん文化会館）

出店事業所：13 事業所

・米子医療生活協同組合まつり出店（10 月 6 日：米子産業体育館）

出店事業所：8 事業所

・NOK 販売会(9 月 20 日：NOK 社屋食堂前・昼休憩のみ)

出店事業所：3 事業所

・NOK 販売会(2020 年 2 月 26 日)：NOK 社屋食堂前・昼休憩のみ)

出店事業所：3 事業所

・ナンバホームセンター販売会の実施

期間：2020 年 2 月 14 日～2 月 28 日

出店事業所：7 事業所

⑥施設外就労・受託作業組替等の促進

・事業所とのマッチング 11 件 12 事業所

施設外就労継続取引先と事業所の調整

新規案件について、実習から契約までの調整

・受託作業組替

- 継続取引先と事業所の調整
新規案件について、実習から契約までの調整
- ・企業訪問等
内容：施設外就労、受託作業新規依頼ヒヤリング、現取引調整等
件数 年間訪問計 87 件
(製造 2 件、食品製造 11 件、小売・スーパー23 件、ホームセンター1 件、宿泊 2 件、卸 11 件、介護 10 件、団体 8 件、サービ 16 件、その他 3 件)

⑦共同受注窓口機能強化

- ・行政等訪問等 20 件 (県関係 12 件、市関係 4 件、町関係 1 件、その他 3 件)
行政等からの受注案件及び企業等からの記念品等依頼を受け、調整を図った。
企業等訪問は上記、施設就労、受託作業組替促進の実績の中を含む。
- ・マッチング 18 件 20 事業所

⑧研修会の実施

- ・HACCPの構築と現場の衛生管理研修会
開催日：11月7日・8日・20日・21日・27日・28日の6回(倉吉市他)
参加延べ事業所：84ヶ所、延べ人数は112人
内容：HACCPの土台となる一般衛生管理プログラム
HACCPの構築に向けて
- ・受託作業受け入れのための衛生管理研修会
開催日：2月26日(米子市) 2月27日(鳥取市)
参加者：33事業所 38人
内容：企業から求められる受託作業現場の一般衛生管理
- ・POP講習会「目からうろこ！売上アップのコツがわかる！イマドキのPOP講習会」
開催日：2月20日(鳥取市)
参加者：15事業所 18名
- ・ゲームを通して経営感覚が身につくMGセミナー
開催日：7月6日、7日(米子市)
参加者：16名
- ・就労継続支援A型事業所対象セミナー *コロナ感染拡大防止対応のため中止
開催予定日：3月7日(米子市)
- ・就労継続支援B型事業所対象工賃向上セミナー *コロナ感染拡大防止対応のため中止
開催予定日：3月25日(鳥取市)
参加予定者に講師資料を配布

⑨その他

- ・日本財団との情報交換会(第2回情報連絡会)の実施
日時：6月19日(鳥取市)
参加者：日本財団職員、7事業所 10名
内容：各事業所の現状とH30年度実績と目標の見直し。情報交換。
- ・日本財団助成事業採択事業所との個別面談の実施
日時：7月23日(鳥取市)、7月24日(米子市)
参加者：日本財団職員、8事業所
内容：日本財団担当者と事業所と個別にて状況等の確認と今後の対応策を検討する。
- ・関西圏域量販店の訪問
訪問先：いしはら商店(神戸市)Greencafe なんば直売所(大阪市)
日時：8月30日
内容：各店舗現状取り扱い商品の確認。今後商品展開のリサーチ

3. とっとりモデルの共同受注体制（鳥取県委託事業）

①共同作業場の運営管理

- ・帳票等整備及び運用
- ・環境整備
 - 害虫を発生させないため、除草剤散布による雑草の除去
 - 作業室内の防虫・防鼠対策として業者による定期検査の実施
 - 新型コロナウイルス感染防止対策として、配置替え、入室ルールの徹底
- ・安全管理
 - 消防署の検査指導により避難訓練を実施した。（4月・9月）
 - HACCAP 導入支援講習受講（11月28日）
 - 新型コロナウイルス感染予防対策（アルコール消毒箇所増設、来所者への検温チェック）
 - 警備会社によるセキュリティー定期検査実施（北陽警備保障）
 - 預かり物損害補償の保険加入

②企業との調整

- ・既存取引先との調整及び新規作業獲得のための調整

③事業所との調整

- ・参加事業所数及び参加人数：8事業所、1日平均36.4名
- ・作業稼働時間：1事業所3～5時間の実施
- ・主な調整内容
 - 事業所参加人数の把握と生産計画の調整
 - 各作業案件の作業手順、生産数量、作業賃についての説明と製品の仕上がり確認
 - 帳票類が正しく運用状況の確認と、製品不良数確認
 - 各事業所の作業工程で苦手な箇所については再発防止の指導
 - 目標工賃に対する意識向上と生産性と品質向上を図る

④外注事業所との調整及び管理

- ・ワークコーポとっとり外での作業（事業所持ち帰り作業）の調整
 - 納期・品質・生産体制等の調整
 - 作業工程・手順、生産数量、作業賃等の確認・調整

4. 地域づくり農福連携事業事業（鳥取県委託事業）

①地域づくり農福連携モデル事業

- ・専門家の派遣
 - 派遣事業所：11事業所
 - 派遣回数：28回
 - <主な派遣内容>
 - 農業を含む就労支援中長期計画
 - 農産加工事業をベースとした地域活性化事業展開
 - 食品加工事業の可能性について、助成金申請に向けた事業提案アドバイス
 - 農産加工品商品化のアイデア出し
 - 耕作放棄地を活用した農産物栽培と食品加工事業展開
 - 今後の展開についてヒアリング
- ・SDG s ×農福連携ワークショップの開催
 - 開催日：12月5日（米子市）12月10日（鳥取市）
 - 内容：2030SDG s カードゲーム
 - SDG s の理解と今後の展開について講義及びワーク
 - 参加者：31名（事業所、地域企業、自治体、団体等）

②ごきげんマルシェの開催 回数：全5回開催

内容：販売他農家等との繋がり場とする。

商品力を上げるためのマーケティングや試食販売の場とする。

<開催日時・会場>

・ごきげんマルシェ in 道の駅気楽里 (2回)

開催日：11月10日、11月17日

会場：鹿野町道の駅気楽里

出店数：10日11か所、17日11か所

・ごきげんマルシェ×米子フリーマーケット

開催日：12月15日

会場：米子文化ホールの多目的広場

出店数：6カ所

・ごきげんマルシェ×ノウフクスーパー

開催日：12月21日

会場：ノウフクスーパー駐車場

内容：グランドオープンと合わせてマルシェを開催

出店数：6カ所

・ごきげんマルシェ with 童里夢

開催日：2月22日

会場：鹿野往来交流館

内容：鹿野町と連携しマルシェを開催

出店数：6カ所

<以下、コロナウイルス拡大感染予防のため中止>

・鹿野町道の駅気楽里にてマルシェ (3月8日予定)

・ごきげんマルシェ×米子フリーマーケット (3月15日)

<県外マルシェへの出店>

「京都ノウフク新春大感謝祭」(きょうと農福連携センター主催) 出店案内

開催日：1月25日(土)、26日(日)

場所：京都府

出店事業所：1事業所(野菜、農産加工品の販売)

5. 就労継続支援事業所体制強化事業(鳥取県委託事業)

(1) 事業所訪問及びアンケートによる情報収集

・利用者状況、職員状況

・サービス提供等状況

・事業所の課題等

(2) 個別事業所支援

・経営状況人員配置等の確認及び助言

・利用者にマッチングした受託作業等斡旋

・他県の好事例等情報提供等

・利用者にマッチングした受託作業等斡旋